ポータブル USB CD-R ドライブ

# CDR-P46USB

## ユーザーズマニュアル

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

注意マーク ........ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

## 文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  A:3.5インチフロッピーディスクドライブ
  C:ハードディスクドライブ
- 本製品を「CDR」と表記しています。
- 文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。
- 付属のWinCDRユーザーガイドおよびMacCDRユーザーガイドには、CD-Rに関しての用語集が記載されています。本書に意味が分からない用語があったときは、WinCDRユーザーガイドまたはMacCDRユーザーガイドの用語集を参考にしてください。

## 著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CDRを使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

**お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。**
**正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。**
**パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。**

## ■使用している表示と絵記号の意味

### 警告表示の意味

| 表示 | 意味 |
| --- | --- |
| 警告 | 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| 注意 | この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。 |

### 絵記号の意味

| 記号 | 意味 |
| --- | --- |
| △ | △は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意)が描かれています。 |
| ⃠ | ○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。<br>○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止） |
| ● | ●は、しなければならない行為を示す記号です。<br>●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

## 警告

**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。**
本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電の恐れがあります。

**ACアダプタは必ず本製品付属のものをご使用ください。**
本製品の付属品以外のACアダプタをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

**本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。**
火災や感電の恐れがあります。

**ACアダプタを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。**

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

・設置時に、ACアダプタを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

・熱器具を近付けたり、加熱しないでください。

・ACアダプタを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

・極端に折り曲げないでください。

・ACアダプタを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、ACアダプタが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

---

**ACアダプタは、AC100V（50/60Hz）のコンセントに完全に差し込んでください。**

海外などで異なる電圧での使用や、不完全な差し込みでの使用は、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

---

**電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**

さわってけがをする危険があります。

---

**小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

---

**濡れた手で本製品に触れないでください。**

ACアダプタがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

---

**煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプタを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

---

**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプタを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

---

**本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプタを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

---

**風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

**レーザー光線を直視しないでください。**

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

## 注意

**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。**

**各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。**

故障の原因となります。

**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**

人体などからの静電気は､本製品を破損､またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

**本製品の上に物を置かないでください。**

傷がついたり、故障の原因となります。

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。故障の原因となります。

**本製品の電源スイッチは、パソコンよりも先にONにしてください。**
**一度OFFにした電源をONにし直すときは、少なくとも数秒待って行ってください。**

本製品の故障、データの消失・破損の恐れがあります。

**アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、パソコンを再起動しないでください。**

データが消失、破損する恐れがあります。

**ヘッドホンをご使用になる場合、ボリュームを大きくしないでください。**

大きな音で長時間ヘッドホンをご使用になると、聴覚障害の原因となります。

**シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

**本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

**定期的にレンズのクリーニングを行ってください。**

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、CD-Rメディアに書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**

・強い磁界、静電気が発生するところ

・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ

・ほこりの多いところ
→故障の原因となります。

・振動が発生するところ
→けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ

・火気の周辺、または熱気のこもるところ
→故障や変形の原因となります。

・漏電、漏水の危険があるところ
→故障や感電の原因となります。

**CD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。**

・CD-Rメディアの表面（レーベル面）に傷を付けないでください。

・CD-Rメディア同士を重ねないでください。

・レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。

・CD-Rメディアにシールやラベルなどを貼らないでください。

**通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。**

故障の原因となります。

**CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア（以後CDと表記）は下記の点に注意して大切にお使いください。**

・直射日光を当てないでください。

・ベンジン、シンナー等の薬品を使ってお手入れをしないでください。
CDの汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へと向って軽く拭き取ってください。

・CDの表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。

・高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。

・CDの表面に手を触れないでください。
CDの両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。

・CDを持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

**ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。**

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

**本製品にCDを入れたまま移動させないでください。**

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態での移動はしないでください。CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

# 目　次

# 1 製品概要

CDRの特長などについて説明しています。

## 特長

● USBダウンストリームポートに接続可能
パソコンやUSBハブのUSBダウンストリームポートに接続できます。

● CD-Rメディアに書き込み可能
CDRは、CD-Rメディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。
・書き込み時: 600KB/sec(4倍速)、300KB/sec(2倍速)、150KB/sec(1倍速)
・読み出し時: 最大900KB/sec(6倍速)

● CD TEXTの作成/再生が可能
CD TEXTは、音楽CDに曲名などの文字情報を追加したものです。CD TEXTに対応したCDプレーヤーで文字情報を表示できます。
※ WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています。ただし、表示できるのは半角英数字の文字情報のみで、日本語の表示には対応していません。
※ MacCDRにはCDプレーヤーは付属していません。MacintoshでCD TEXT形式のCDを再生するには、CD TEXTに対応した再生用ソフトウェアが別途必要です。

● MP3データファイルから、音楽CD(CD-DA)を作成できます。

● 多彩なフォーマット形式をサポート
次のCDのフォーマット形式をサポートしています。
・CD-DA(音楽CD)
・CD TEXT(*1)
・CD-ROM(Mode1)
・CD-ROM XA
・CD-ROM(Mixed Mode)
・Photo CD(*2、*3)
・Video CD(*2、*4)
・CD Extra
・HFS(*5)
・Hybrid(*5)

*1 パソコンで再生する場合、再生ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。オーディオ機器で再生する場合、オーディオ機器がCD TEXTに対応している必要があります。

*2 読み出しには、再生ソフトウェアまたはハードウェアが別途必要です。
*3 JPEGファイルなどの画像データは、Photo CD形式ファイルへは変換できません。
*4 Video CD形式ファイルへの変換にはVideo CDの規格に準拠したファイル形式(*.MPGなど)でキャプチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。
*5 MacCDRでのみ作成可能です。

● CDのバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライ・バックアップと、ハードディスクにCDのイメージを作成してからバックアップする方法があります。

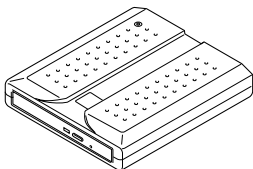
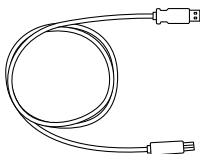
## 必要なパソコン環境

● DOS/V機、PC98-NXシリーズ
・CPU ......... Pentium133MHz以上(*1)
・メモリ ........ 32MB以上(64MB以上推奨)
・OS .......... Windows98
・ハードディスク空き容量
WinCDRのインストール用に約8MB
書き込み時の一時的な作業領域として約50〜800MB(*2)
*1 4倍速で書き込むには、PentiumII 233MHz以上が必要です。
*2 書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

● PowerMac、iMac、iBook、PowerBook
・アプリケーションRAM ... 16MB
・メモリ .............. 32MB以上(64MB以上推奨)
・OS ................. Mac OS8.6以降
・ハードディスク空き容量
MacCDRのインストール用に約5MB
書き込み時の一時的な作業領域として約50〜800MB(*)
* 書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

# パッケージ内容

**パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。**

● CDR（本体） ........................ 1台

● USBケーブル（1m） .................. 1本

● ACアダプタ（5V、2.3A） ............... 1個

● CDR-P46USBドライバディスク for Windows98（フロッピーディスク） ................. 1枚

● イジェクトピン ....................... 1本

● CD-ROM ............................ 1枚

※ ライティングソフトウェア「WinCDR」「MacCDR」が収録されています。
ハイブリッドCDなので、WindowsでもMac OSでも使用できます。

● CD-Rメディア（650MB/74分） .......... 2枚

● ユーザーズマニュアル（本書） ......... 1冊

● WinCDRユーザーガイド ................ 1冊

● お客様登録カード（WinCDR用） ........ 1枚

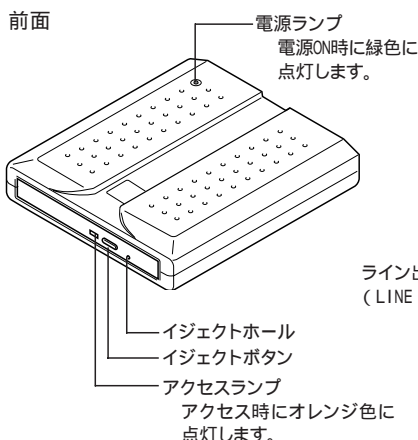
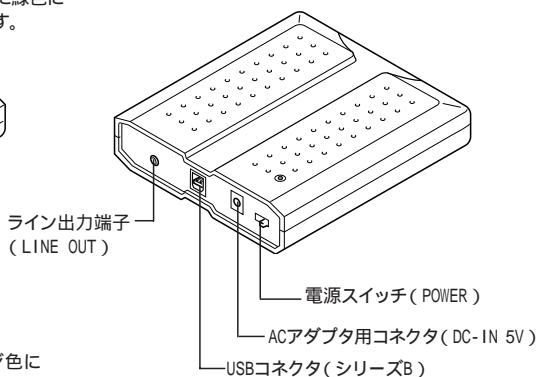
● MacCDRユーザーガイド ................ 1冊

● お客様登録カード（MacCDR用） ........ 1枚

● ユーザー登録はがき、保証書（株式会社メルコ） .................. 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

# 各部の名称

# 2 セットアップ

CDRをパソコンに取り付ける手順やCDRの使いかたについて説明しています。

## セットアップ手順

CDRのセットアップ手順は次のとおりです。

＜Windows搭載パソコン＞　＜Macintosh＞

CDRにUSBケーブルを接続する

▼

CDRのACアダプタ用コネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

CDRの電源スイッチをONにする

▼

パソコンの電源スイッチをONにし、CDRを接続する
Windows搭載パソコン【P12】　Macintosh【P20】

▼

ドライバをインストールする【P13】（Windows搭載パソコン）

▼

WinCDRをインストールする
【別冊「WinCDRユーザーガイド」参照】

MacCDRをインストールする
【別冊「MacCDRユーザーガイド」参照】

## 取り付けの前に

### 注意事項

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）にバックアップしてください。

● 本製品はパソコンやUSBハブのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないDOS/V機やPC98-NXシリーズを使用している場合は、弊社製USBボードUCI-P2（別売）を使用してください。

次のページへ続く

- CDRはUSBハブに接続して使用しないでください。正常に書き込みができないことがあります。
- 1台のパソコンに、USB接続のCDRドライブ（本製品を含む）を2台以上接続して使用することはできません。
- 本製品は、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。パソコンが省電力モードになっているときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。
- パソコンおよびCDRは精密機器です。「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「使用時の注意」【P21】を必ず参照してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。
- CDRを使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。
  - ・パソコン本体のマニュアル
  - ・本製品および付属品

## NEC PC98-NX シリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、CDRのドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

| 色 | モード | |
|---|---|---|
| 赤 | アドバンストモード | 設定を変更する必要はありません。 |
| 黄 | ベーシックモード | アドバンストモードに設定を変更してください。 |
| 緑 | キッズモード／カスタムモード | アドバンストモードに設定を変更してください。 |

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。
アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後はアドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

### CyberTrio-NX

CyberTrio-NXは、パソコンを使う人ごとにWindows98の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定します。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

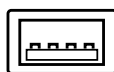
# Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

## CDRの接続とドライバのインストール

CDRをパソコンに接続します。

**1 付属のUSBケーブルをCDRのUSBコネクタに接続します。**

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA
（パソコン側に接続）

シリーズB
（CDRに接続）

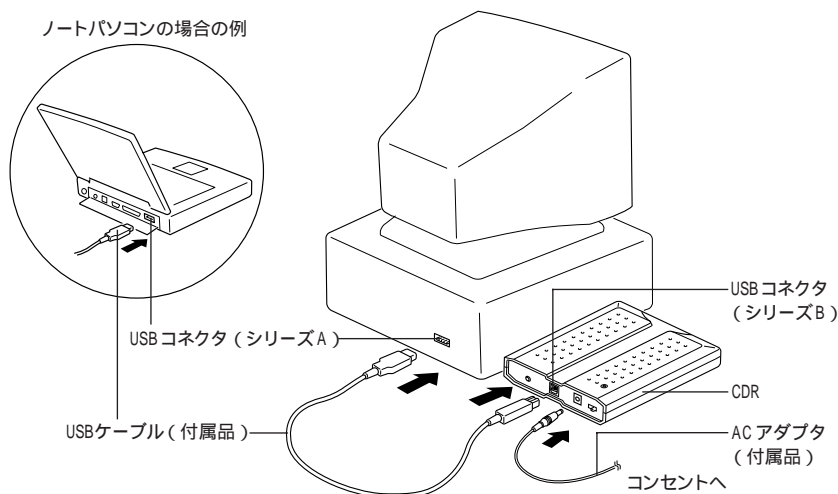
**2 付属のACアダプタをCDRのACアダプタ用コネクタに接続します。ACアダプタをコンセントに接続します。**

**3 CDRの電源スイッチをONにします。**

**4 パソコンの電源スイッチをONにします。**

**5 パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。**

CDRが認識され、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が自動的に起動します。

⚠注意 **CDRは必ずパソコンのUSBコネクタに接続してください。USBハブには接続しないでください。**

メモ ［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動しない場合は、【P16「［デバイス マネージャ］でのインストール」】を参照してドライバをインストールしてください。

次のページへ続く

**6**

［次へ >］ボタンをクリックします。

**7**

①［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

②［次へ >］ボタンをクリックします。

**8**

① CDR付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

②［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③［次へ >］ボタンをクリックします。

**9**

［次へ >］ボタンをクリックします。

**10**

①［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

②［次へ >］ボタンをクリックします。



次のページへ続く

## 11

① CDR付属のドライバディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認します。

②［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③［次へ >］ボタンをクリックします。

## 12

［次へ >］ボタンをクリックします。

## 13

［完了］ボタンをクリックします。

## 14

［次へ >］ボタンをクリックします。

## 15

①［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

②［次へ >］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

**16**

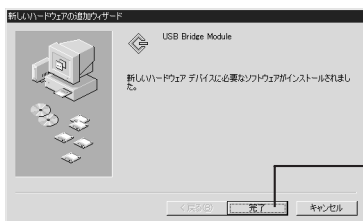
① CDR付属のドライバディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認します。

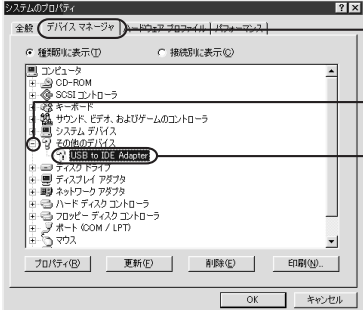
② ［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③ ［次へ >］ボタンをクリックします。

**17**

［次へ >］ボタンをクリックします。

**18**

［完了］ボタンをクリックします。

**以上でドライバのインストールは完了です。**

**正常にインストールされると、［デバイス　マネージャ］に2つのデバイス(USB Bridge Module、USB Strage Adapter)が追加されます。【P19】**

2

セットアップ

## ［デバイス マネージャ］でのインストール

**［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動しなかったときや、インストール手順を中断してしまったとき、付属のドライバディスクを使用せずにインストール手順を終了させてしまったときは、CDRをパソコンに接続しても［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動しなくなります。その場合は、次の手順でインストールしてください。**

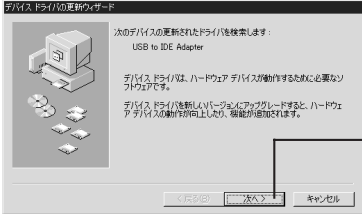
**1** **パソコンとCDRの電源スイッチをONにし、CDRをパソコンに接続します。****【P12】**

**2** **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。**

**3** **表示されたメニューから［プロパティ(R)］を選択します。**

**4**

① ［デバイス マネージャ］タブをクリックします。

② ［その他のデバイス］の ⊞ をクリックします。

③ 表示された［USB to IDE Adapter］をダブルクリックします。

**5**

［ドライバの再インストール(I)］ボタンをクリックします。

**6**

［次へ >］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

**7**

①［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

②［次へ >］ボタンをクリックします。

**8**

① CDR付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

②［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③［次へ >］ボタンをクリックします。

**9**

［次へ >］ボタンをクリックします。

**10**

［完了］ボタンをクリックします。

**11**

［閉じる］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

**12**

［次へ >］ボタンをクリックします。

**13**

① ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

② ［次へ >］ボタンをクリックします。

**14**

① CDR付属のドライバディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認します。

② ［フロピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③ ［次へ >］ボタンをクリックします。

**15**

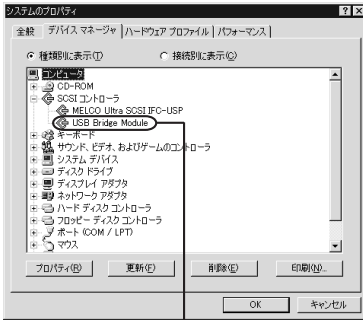
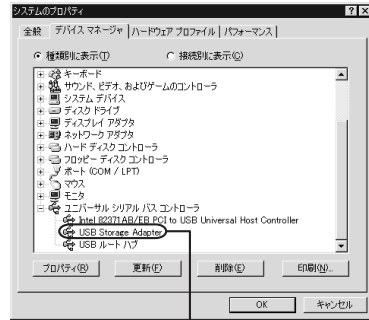
［次へ >］ボタンをクリックします。

**16**

［完了］ボタンをクリックします。

**以上でドライバのインストールは完了です。**

次のページへ続く

**正常にインストールされると、デバイスマネージャに次の2つのデバイスが追加されます。**

［SCSI コントローラ］に［USB Bridge Module］が追加されます。

［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］に［USB Storage Adapter］が追加されます。

# Macintoshでのセットアップ手順

CDRを接続します。

**1** **付属のUSBケーブルをCDRのUSBコネクタに接続します。**

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA
（パソコン側に接続）

シリーズB
（CDRに接続）

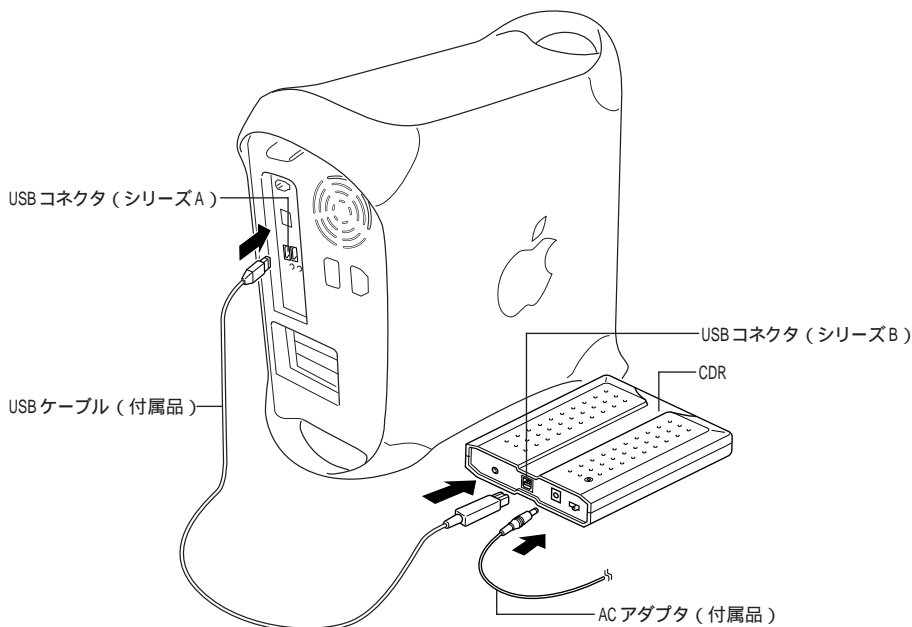
**2** **付属のACアダプタをCDRのACアダプタ用コネクタに接続します。ACアダプタをコンセントに接続します。**

**3** **CDRの電源スイッチをONにします。**

**4** **パソコンの電源スイッチをONにします。**

**5** **パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。**

⚠注意 CDRは必ずパソコンのUSBコネクタに接続してください。USBハブには接続しないでください。

USBコネクタ（シリーズA）
USBケーブル（付属品）
USBコネクタ（シリーズB）
CDR
ACアダプタ（付属品）

以上でCDRの接続は完了です。

⚠注意 接続が終わったら、続いて必ずMacCDRをインストールしてください。MacCDRをインストールしないと、CDRにセットしたCDがマウントされません。

# 3 取り扱いかた

CDRの基本的な操作方法を説明します。

## 使用時の注意

- ACアダプタは、必ずCDRに付属のものを使用してください。付属品以外のものを使用すると、CDRやパソコンが故障するおそれがあります。
- USB用ケーブルやACアダプタなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。
- CDRはホットプラグに対応しています。
  CDRやパソコンの電源スイッチがONの時でもUSBケーブルを抜き差しできます。

  ⚠注意 **CD-Rメディアにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。CD-Rメディア内のデータが破損するおそれがあります。**
- 長時間CDRを使用しないときは、必ずコンセントとCDRからACアダプタを取り外してください。
- CD-Rメディアへの書き込み中やCDの再生中にCDRを動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。
- CDはトレーの中心にある軸に確実にセットしてください。確実にセットしないと、CDやCDRの破損の原因となります。
- CDRを不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。
- CDRの上に物を置かないでください。
- USBケーブルを抜く前に、CDRからCDを取り出してください。
  CDRがパソコンに接続されていないときは、CDRのイジェクトボタンが動作しません。USBケーブルを抜いた状態でCDを取り出したいときは、付属のイジェクトピンを使用してください。【P22】

## CD-Rメディアの取り扱いに関する注意

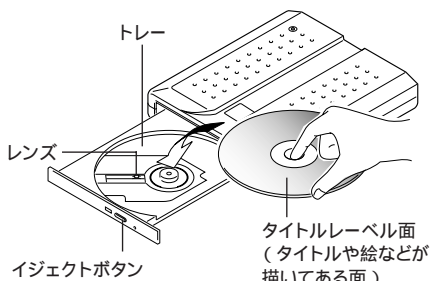
CD-Rメディアは繊細なメディアです。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- CD-Rメディアにシールやラベルなどを貼らないでください。
- CD-Rメディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。
- CD-Rメディアに傷を付けないでください。

# CDのセット／取り出し

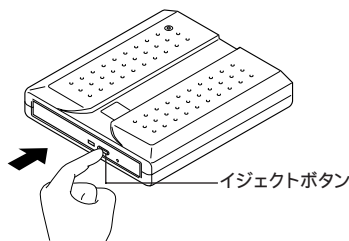
● CDをセットする

① パソコンとCDRの電源スイッチをONにします。
② パソコンとCDRをUSBケーブルで接続します。
③ イジェクトボタンを押してトレーを出します。
④ トレーの中心にある軸にCDを固定します。
⑤ CDを固定したら、ロックされるまでトレーを押し込みます。

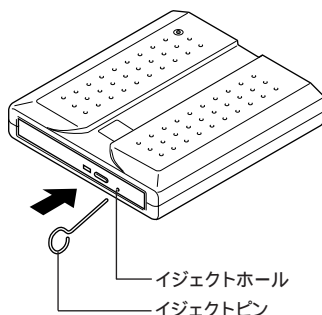
⚠注意 ・レンズには触らないでください。
・CDをセットする前に、USBケーブルでCDRとパソコンを接続してください。

● CDを取り出す

イジェクトボタンを押すとトレーが排出されます。
CDを取り出したら、トレーがロックされるまで押し込みます。

⚠注意 次の状態のときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。

・パソコンがCDRを認識していない（OSの起動しているパソコンにCDRを接続している必要があります）
・パソコンとCDRの電源スイッチがOFFになっている
・WinCDRが起動している（この場合は、WinCDRでイジェクト操作してください）

● トレーが出てこないとき

パソコンがCDRを認識（OSの起動しているパソコンにCDRを接続）した状態でないと、イジェクトボタンを押してもトレーが排出されなくなります。
その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。

⚠注意 この操作はCDRの電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はCDR内でCDが回転しているので、強制的に排出するとCDやCDRを破損するおそれがあります。

# 4 書き込みと読み出し

CD-Rメディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

## 書き込みを失敗しないために

書き込みを失敗しないために、書き込みをする直前に次の設定と確認をしてください。
設定を行わないと、書き込み中に「データ転送が間に合いませんでした」というメッセージが表示され、バッファアンダーラン(*)と呼ばれる書き込みエラーが発生します。

* 書き込み中にCDRのバッファが空になり、正常に書き込めなくなる現象。書き込み中にCPUに負荷のかかる作業が行われたときなどに発生します。バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」および「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。

● ハードディスクの空き容量を確認しておいてください。
800MB以上の空き容量を確保することをおすすめします。空き容量が少ない場合は、不要なファイルを削除するか、新しくハードディスクを増設してください。

● 自動的に起動するプログラム（スクリーンセーバーなど）は、すべて終了してください。
※ 付属のライティングソフトウェア「WinCDR」を起動しているときは、本製品でのCDの自動再生機能（オートラン）が無効になります。

● 書き込み動作確認メディア
弊社で書き込み動作を確認したCD-Rメディアは次のとおりです。
太陽誘電、RICOH、三井化学、富士FILM、SONY、イメーション、TDK、PHILIPS、三菱化学、日立マクセル、KODAK、パイオニア

● 書き込み中はネットワークを接続しないことをおすすめします。
外部からのアクセスによってCPUに負荷がかかり、書き込みが失敗することがあります。
LANなどのネットワーク環境に接続して書き込みが失敗するときは、ネットワークに接続しないように設定を変更し、パソコンを再起動してください。

● パソコン本体の省電力モードを無効にしてください。
レジューム機能、スリープ機能は使用しないでください。

● ライティングソフトウェア以外のアプリケーションを起動しないでください。
起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

## 書き込み

CD-Rメディアにデータを書き込むときは、CDR付属の「WinCDR」または「MacCDR」を使用します。Windows搭載パソコンをお使いの方は「WinCDR」を、Macintoshをお使いの方は「MacCDR」をインストールしてください。詳しいインストール方法は、「WinCDRユーザーガイド」もしくは「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。

⚠注意 
- 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CDRを使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- WinCDRまたはMacCDRで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

WinCDR、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRユーザーガイド」および「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】
CDRの操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

## WinCDRとMacCDRの特長

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、CDR1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。
  ※ 詳しい方法は、別冊「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。
- WinCDRで作成したCDは、Macintoshでも読み出せます。
  ※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
  ※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0〜9およびA〜Z（大文字）です。
- MacCDRでは、HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。
  ※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

## WinCDRとMacCDRの対応する機能

○：対応　－：非対応

| | WinCDR | MacCDR |
|---|---|---|
| ISO9660（CD-ROMの標準ファイルフォーマット） | ○ | ○ |
| CD-DA（音楽CDフォーマット） | ○ | ○ |
| CD TEXT | ○ | ○ |
| Mixed Mode CD（CD-DAとデータの混在フォーマット） | ○ | ○ |
| CD-ROM XA（ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット） | ○ | ○ |
| フォトCD（フォトCDイメージファイル） | ○ | ○ |
| CD-ROM　Mode1 | ○ | ○ |
| CD Extra | ○ | ○ |
| マルチセッションサポート（追記記録方式） | ○ | ○ |
| ディスクアットワンス | ○ | ○ |
| トラックアットワンス（追記記録方式） | ○ | ○ |
| セッションアットワンス | ○ | ○ |
| バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み<br>・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む | ○ | ○ |
| ハードディスク上でのISOイメージ作成<br>・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、<br>CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要 | ○ | ○ |
| CDを作成する前の書き込み前のテスト | ○ | ○ |
| ロングファイル名サポート | ○ | ○ |
| Joliet（DOS名と64文字までのファイル名） | ○ | － |
| DOSファイル名（8.3） | ○ | － |
| ISO9660レベル1標準（8.3） | ○ | ○ |
| HFS（Apple専用ファイルシステム） | － | ○ |
| Hybrid（ISO9660＋HFS ） | － | ○ |

## 書き込み方式

**メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。**

● **ディスクアットワンス方式**

- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ　書き込み時に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。

● **トラックアットワンス方式**

- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意　**1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-Rメディアには追記できなくなります。**

メモ　書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● **セッションアットワンス方式**

音楽データとパソコンで使用可能なファイルデータを1枚のCDに記録するCD Extra形式でデータを書き込むときに、この書き込み方式を選択します。

- トラックアットワンス方式と違いリンクブロックが発生しないため、CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマットであるISO9660と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ　音楽データ（第1セッション）とファイルデータ（第2セッション）を書き込む際に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すれば、自動的にセッションアットワンス方式で書き込めます。

# 読み出し

CDRは、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。

- 音楽CD（CD-DA）
- CD TEXT(*1)
- CD-ROM（Mode1）
- CD Extra
- Video CD(*2)
- Photo CD(*2)
- CD-ROM XA Mode2（Form1、Form2）

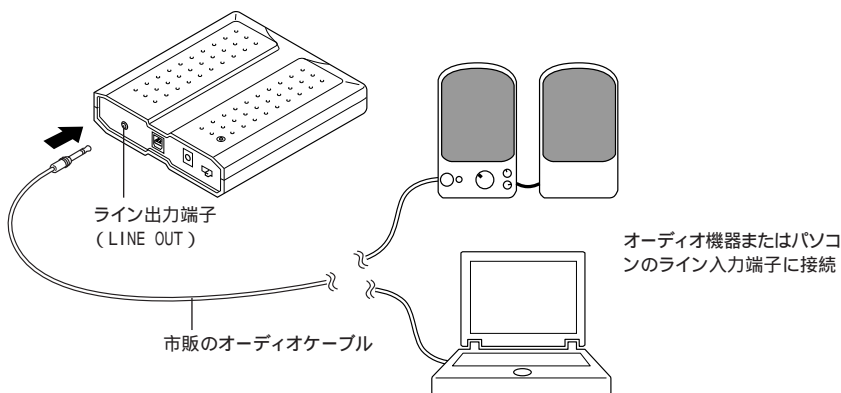
*1　再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります(WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています)。

*2　読み出しには、再生用ソフトウェアまたはハードウェアが別途必要です。

# 5 音楽CDを聴く

CDRにオーディオ機器を接続すると、音楽CDを聴くことができます。

## オーディオ機器の接続

CDRのオーディオ出力端子（LINE OUT）と、オーディオ機器やパソコンのライン入力端子を接続します。
接続には市販のオーディオケーブルを使用してください。

## 再生方法

音楽CDの再生方法を説明します。

### Windows98搭載パソコン

● WinCDR付属のCDプレーヤー
[スタート] ─ [プログラム(P)] ─ [WinCDR] ─ [CDプレーヤー] と選択します。
操作方法は、CDプレーヤーのポップアップウィンドウ（操作ボタンにマウスカーソルを重ねると表示される文字情報）を参照してください。

● Windows98付属のCDプレーヤー
[スタート] ─ [プログラム(P)] ─ [アクセサリ] ─ [エンターテイメント] ─ [CDプレーヤー(*)] と選択します。
操作方法は、Windows98のヘルプを参照してください。
* Microsoft社製「Microsoft Plus! 98」がインストールされている環境では、[デラックスCDプレーヤー]と表示されます。

### Macintosh

OS付属の「Apple CDオーディオプレーヤー」を使用します。

「Apple CDオーディオプレーヤー」の使用方法は、Mac OSのヘルプを参照してください。

# 付録

トラブルの対処方法と製品の仕様を説明しています。

## 困ったときは

CDRを使用していて不具合が発生した場合に考えられる原因と対処方法を説明しています。不具合が発生した時は、まずここをお読みください。

### 一般的なトラブル

#### CDRが認識されない

| | |
|---|---|
| CDRが正しく接続されていない | USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。<br>・Windows搭載パソコン ........【P12】<br>・Macintosh ................【P20】 |
| CDRの電源スイッチがOFFになっている | 電源ランプが点灯していているか確認し、点灯していないときは電源スイッチをONにしてください。また、CDRのACアダプタがACコンセントに接続されているか確認してください。 |

#### オーディオ機器から音楽CDの音が聴こえない

| | |
|---|---|
| オーディオケーブルが正しく接続されていない | オーディオ機器やパソコンのマニュアルを参照して接続を確認してください。 |

#### トレーが排出されない

| | |
|---|---|
| CDがトレーに正しくセットされていない | 付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込んで、強制的に排出してください。【P22「トレーが出てこないとき」】<br>⚠注意 この操作はCDRの電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後に強制的に排出すると、CDやCDRを破損するおそれがあります。 |
| パソコンがCDRを認識していない | OSの起動しているパソコンにCDRを接続してください。 |
| パソコンとCDRの電源スイッチがOFFになっている | パソコンとCDRの電源スイッチをONにしてください。 |

### 読み出し時のトラブル

#### 2回以上書き込むと、前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

| | |
|---|---|
| 書き込み時に、最後のセッションを読み込まないように設定している | ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけを読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。 |

| | |
|---|---|
| CDが汚れている、または破損している | CDが傷ついていたり表面に汚れが付着していると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーなどで除去してください。 |
| CDが裏返しになっている | トレーからCDを取り出し、CDのラベル面を上に向けてトレーにセットしてください。 |

### Photo CDが読み出せない

| | |
|---|---|
| Photo CDのディスクに欠陥がある | 他のPhoto CDが読み出せるか確認してください。読み出せるときは、読めないPhoto CDに欠陥があると考えられます。 |

### 作成したVideo CDが再生できない(Windows搭載パソコンのみ)

| | |
|---|---|
| 弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した | 弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。 |

### 読み出し時に異音がする

| | |
|---|---|
| CDにシールが貼られている | CDにシールなどを貼ると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生します。絶対にシールなどを貼らないでください。 |

## 書き込み時のトラブル

### 「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される(バッファアンダーランが発生する)

バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。

| | |
|---|---|
| ネットワークに接続している | ネットワークに接続しない設定にしてパソコンを再起動してください。 |
| 書き込み中にスクリーンセーバーが起動した | スクリーンセーバーを無効にしてください。 |
| 他のアプリケーションが起動している | ライティングソフトウェア以外のアプリケーションはすべて終了してください。 |
| パソコンのメモリ不足 | パソコンのメモリ容量が少ないと、バッファアンダーランが発生しやすくなります。メモリを増設してください。 |
| ハードディスクの[オートサーマルリキャリブレーション機能]が動作した | 高速ハードディスクには、「オートサーマルリキャリブレーション機能」を装備した機種があります。それらの機種を使用していてバッファアンダーランが発生するときは、他のハードディスクを使用してください。 |
| 選択している書き込み速度がパソコンに対応していない | 十分なメモリ容量とCPU速度がない場合、4倍速や2倍速では書き込めません。1倍速で書き込んでください。 |

| | |
|---|---|
| ハードディスクの空き容量が足りない | ハードディスクには800MB以上の空き容量を確保することをおすすめします。空き容量が少ない場合は、不要なファイルを削除するか、新しくハードディスクを増設してください。 |
| パソコンの省電力モードが有効になっている | パソコン本体の省電力モード(レジューム機能やスリープ機能など)は使用しないでください。 |

## CDにデータを書き込めない

| | |
|---|---|
| ライティングソフトウェアを使用していない | CD-Rメディアにデータを書き込むには、ライティングソフトウェアを使用する必要があります。CDR付属のライティングソフトウェアを使用してください。 |
| CD-ROM、音楽CD(CD-DA)がセットされている | データを書き込めるのはCD-Rメディアだけです。CD-Rメディアをセットし直してください。 |
| CD-RWメディアがセットされている | CDRではCD-RWメディアには書き込めません。CD-Rメディアを使用してください。 |
| CDRの電源が入っていない | CDRの電源スイッチがONになっているか、電源ケーブルがACコンセントに接続されているか確認してください。 |

## CD-Rメディアに追記できない

| | |
|---|---|
| ライティングソフトウェアが違っている | ライティングソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、CD-Rメディアに追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。 |
| CD-Rメディアの容量が足りない | 新しいCD-Rメディアに書き込んでください。 |
| 他社製CD-Rドライブで書き込んだCD-Rメディアを使用している | 他社製のCD-Rドライブで書き込んだCD-Rメディアには追記できません。CDRで書き込んだCD-Rメディア、または新しいCD-Rメディアを使用してください。 |
| バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアを使用している | バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。 |
| トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している | ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のCD-Rメディアにデータを書き込んでください。 |

## 音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

| | |
|---|---|
| 音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない | CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、CDRで音楽CDを再生してキャプチャしてください。 |

| | |
|---|---|
| 読み込み速度が適切でない | 音楽CDによっては汚れや小さな傷などにより、読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を1倍速に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。 |
| 音楽CDに傷がある | 音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。 |

### 書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

| | |
|---|---|
| 音楽CDを書き込んでいる | 音楽CDの書き込み時は、コンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。 |

### オンザフライ方式でCDのバックアップができない

| | |
|---|---|
| CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない | CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、CDRにCDをセットしてバックアップを行ってください。 |

## Windows、Mac OSの再セットアップに関して

本製品などのUSB接続のドライブを使用して、WindowsやMac OSを再セットアップすることはできません。再セットアップには、パソコン本体のCD-ROMドライブなどを使用してください。

# 仕様

<table>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td>USB</td></tr>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td>USB Specification Rev1.1</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td>USB シリーズB</td></tr>
<tr><td colspan="2">アクセスタイム（平均）</td><td>220msec（ランダムアクセス時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">データバッファサイズ</td><td>1MB</td></tr>
<tr><td rowspan="2">転送速度</td><td>書き込み</td><td>600KB/sec(4倍速)、300KB/sec(2倍速)、150KB/sec(1倍速)</td></tr>
<tr><td>読み出し</td><td>最大900KB/s（6倍速）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライン出力</td><td>0.77Vrms（ステレオ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイズ</td><td>151(W)×29(H)×183(D)mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td>560g</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>平均：6W　　最大：11W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td>5〜35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>10〜90%（結露無きこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応機種</td><td>USBインターフェースを標準搭載する次の機種<br>・DOS/V機（OADG仕様）(*)<br>・NEC製 PC98-NXシリーズ（*）<br>・Apple社製 iMac<br>・Apple社製 PowerMac G3/G4<br>・Apple社製 iBook<br>・Apple社製 PowerBook</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応OS</td><td>・Windows98<br>・Mac OS8.6以降</td></tr>
</table>

*** USBインターフェースを搭載していない機種をお使いの場合は、弊社製USBインターフェースボードUCI-P2を別途お買い求めいただき、パソコンに取り付けてください。**

**※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。**

## ■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

## ■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

## ■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

| 製品送付先 | 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階<br>株式会社メルコ 修理センター宛 |
|---|---|
| 電話番号 | 052-889-2104 |

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

## ■ WinCDR、MacCDRのサポートについて

付属のお客様登録カードに、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDRとMacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザサポート」までお問い合わせください。
【「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、MacCDRに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

**CDR-P46USBユーザーズマニュアル**

2000年1月20日 初版発行
発行 株式会社メルコ

## 弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station <GO SMELCO>

FAX情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、
音声案内に従って操作してください。
※プッシュ信号（ピ・ポ・パ音）の出るFAXを
使用してください。

製品サポート

### インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990
月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土 / 祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188
月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
・コンピュータ名と使用OS
・本製品の製品名とシリアルナンバー
・現象（具体的なエラーメッセージなど）

## 「メルブック」シリーズ

①メモリを知ろう
②LANを知ろう
③外部記憶装置を知ろう
④Windowsを知ろう
⑤386マシンをマルチメディアパソコンにする
⑦CPUアクセラレータを知ろう
⑪イメージクリップセットとWordで年賀状をつくろう
⑫外部記憶装置をグレードアップしよう
⑬イメージクリップボードでホームページをつくろう
⑭インターネットを始めよう
⑮ミニコンポ 企業での導入事例

1冊1,000円＋送料270円　※書店では販売しておりません。

| お申し込み先 | | |
|---|---|---|
| | 1.インターネット | http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html |
| | 2.FAX情報 | 052-614-6911(BOX No.0800) |
| | 3.郵送 | 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ 備品販売窓口 |